

## 家庭、地域で考える力を育てよう

最近、生成AIの活用について議論されています。生成AIを使えば、画像や文章、音声などたくさんことができます。作文も読書感想文もできてしまいます。生成AIはとても便利なものだと思いますが、使い方を誤ると、曖昧な情報、偏った情報に惑わされることもあります。中でも、私が心配していることは、人が考える力の成長を妨げることです。

いよいよ夏休みに入ります。家庭や地域で過ごすことが増えます。そこで、学校で先生方が行っている、「考える力を伸ばすテクニック」をちょっとだけ書いておきます。家庭や地域で子どもの考える力を伸ばすために実践してみてください。

### ○ 考える力を伸ばすテクニック【1】 ～ 見通しをもたせる。

子どもが何かを始めようとしたときに、すぐに行き詰まったり、やる気がなくなったりすることがあります。その理由の1つに見通しがもてないことがあります。「始める理由」「ゴールイメージ」「方法」「手順」「困ったときの手立て」など、これらが見通せていると子どもは自分で考え、行動することができます。何かを始めようとするときにこれらの見通しがあるかを確認するとよいと思います。見通しをもつ力が育つと、自分の生き方や将来について考える力につながります。

### ○ 考える力を伸ばすテクニック【2】 ～ すぐに答えを教えず、問い返す。

子どもはすぐに何でも聞いてきます。まずは聞いてあげてください。わかりきったこともたくさんありますが、「〇〇さんはどう思う？」「どうしてだろうね？」と問い返してみます。このことが考えるきっかけになります。難しいときは、一緒に調べたり考えたりします。「答え」を知ることより、「学び方・調べ方」を教えることが大切です。「学び方・調べ方」を身につけることはよりよく生きる力につながります。

### ○ 考える力を伸ばすテクニック【3】 ～ 考えを揺さぶる。

子どもは成長の過程で自分の考えがすべて正しいと思いがちです。大切なことは、自分の意見が本当に正しいかを見極める力です。そのために、子どもの考えに対して、「それって本当？」「何かに書いてあったの？」と質問をします。すると、子どもは自分の考えの正当性を説明しようとし、この過程が大切です。十分に説明できないときには、「一緒に考えようか。」と寄り添ってあげると効果的です。この経験が、「情報を鵜呑みにしない」「偏った情報に惑わされない」など、判断力を成長させます。

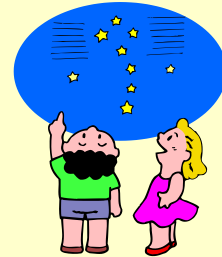
このようなことが大切だと分かっている、忙しい毎日の中ではなかなかできることはありません。夏休みの中でこのような話ができる時間を意図的に作ってみてください。例えば、「家族で遊びに行く計画を立てさせてみる」「一緒に自由研究（子どもが不思議に思っていることややってみたいと思っていること）をする」「一緒に何か（工作や料理など）を作る」などです。その中で、見通しをもたせ、一緒に考え、時には考えを揺さぶってみてください。子どもとの貴重な体験となると思います。すてきな夏休みをお過ごしください。



第1回授業研究会の様子

【2学期はじめの行事予定】

8月27日(日) PTA奉仕活動  
 28日(月) 始業日 ※給食後下校  
 30日(水) 避難訓練(地震)  
 9月 1日(金) 全校体育①  
       5日(火) 全校体育②  
       8日(金) 学校支援訪問  
      12日(火) 全校体育③  
      14日(木) 全校体育④  
      15日(金) 教育相談  
      22日(金) 振替休業日 ※23日(土)分  
      23日(土) 運動会前日準備 ※給食あり  
      24日(日) 運動会  
      25日(月) 振替休業日 ※24日(日)分  
      26日(火) バースデイランチ



## 田原っ子フォトギャラリー



3, 4年「水辺の学習」



1, 2年生 図工「ごちそうパーティ」



五・六年家庭科  
 「エプロンの製作」

